



一般社団法人 日本顕微鏡歯科学会

# 第20回学術大会・総会 ランチタイムセミナー

大会長：寺内吉継

実行委員長：表茂稔

### マイクロ DH だからこそ P モードにこだわれ ～これで臼歯部の遠心が楽に取れる～

林智恵子

近年、顕微鏡を使ってより精度の高い歯周病の処置、予防を行う歯科衛生士が増えて来ました。しかし顕微鏡下でのインスツルメンテーションは難しいところもあります。特に臼歯部遠心面はミラーテクニックを駆使しても超音波チップの先端を歯面に適切に添わせることが難しいと考えている歯科衛生士は非常に多いと感じています。

私も日頃から「なかなかうまくチップを当てることができない」と感じておりポジションを移動したり、顕微鏡を動かしたりして試みましたがうまくチップを当てられない事から、歯石が取れず、超音波スケーラーのパワーをついつい上げてしまいがちになっていました。しかし、超音波スケーラーのパワーを上げてしまうと、歯面を傷つけてしまったり歯肉から出血させてしまったりと、患者に痛みを与えていました。

そこで、超音波スケーラーチップの製作に実績のある錦部製作所に「無理なく臼歯部遠心面のスケーリングができる超音波チップの開発」をお願いしたところ試行錯誤の末、独特な三次元カーブを与えられた超音波チップ（CHM チップ）の開発に成功いたしました。このチップは右曲がり（CHM-R）と左曲がり（CHM-L）がワンセットとなっているのが特徴で、独特な三次元カーブにより直感的に臼歯部遠心面に添わせることができるようになりました。また、錦部製作所の特徴である「超音波チップに刃を付与する」ことで、超音波スケーラーのパワーを必要以上に上げることなく、効率的にスケーリングを行う事ができるようになりました。これにより、歯面を傷つけることなく、そして患者に痛みを与えずに快適な歯周処置が可能となります。また、三次元的カーブが付与されていることから、前歯の歯石除去もチップが邪魔にならず歯石がしっかり見える状態で施術ができるのでオーバーインスツルメントになりにくいです。

つまり、CHM チップは臼歯部遠心のみならず、前歯部も含めたほぼ全顎のスケーリングを CHM-R、CHM-L の 2 本のチップだけで施術をすることが可能となりました。私は 2 本の超音波ハンドピースを用意し、それぞれに CHM-R、CHM-L チップを装着して使用しています。こうすることでチップ交換時の煩雑さが無くなり、施術時間の短縮になります。

本講演では、この新しく開発された CHM チップを顕微鏡を使用する歯科衛生士に知っていたき、術者、患者共にストレスフリーなスケーリングが行えることを紹介させていただきます。